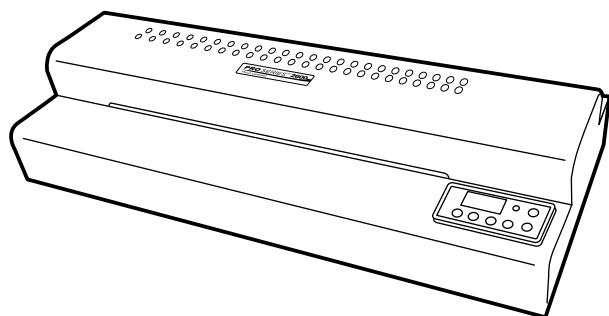


# 取扱説明書

## パウチラミネーター プロシリーズ P2600



アコ・ブランズ・ジャパン株式会社

### はじめに

このたびは弊社パウチラミネーターをお買求めいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、  
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
本取扱説明書は必ず保管してください。

### 目次

1. 内容物の確認	1
2. ご使用上の注意	2
3. 各部の名称と働き	4
4. ラミネート作業上の注意	6
5. 操作方法	9
6. お手入れ方法	14
7. こんなときは	15
8. 製品仕様	16

### 保証とサービス

#### お客様へ

小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での  
使用は絶対にしないでください。  
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。

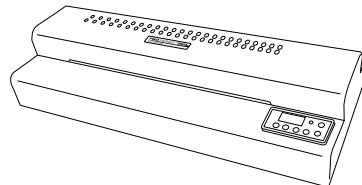
本機はパウチフィルムの糊を溶かすためにヒーターを使用しております。  
ヒーター使用機器は使用初期に若干の発煙・臭気が発生することがござ  
います。製造上の制約で、完全に無くすことが出来ませんのでご理解下  
さい。これは使用回数を経ることで減少しますが、数回使用しても発煙・  
臭気が減少しない場合は使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご相談く  
ださい。

本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用してあり  
ます。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)  
接觸すると褐色に変色することがあります。  
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れな  
いようにマット等の保護材を使用してください。

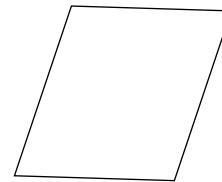
## 1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

マシン本体



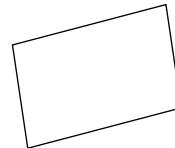
クリーニングペーパー



取扱説明書（本書）



ラミネーター使用時の注意書き



お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

## 2・ご使用上の注意

## 表示の意味



**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。



## 警告



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。  
思わぬけがをする恐れがあります。



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。  
けがをする原因になることがあります。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。  
感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。  
感電や思わぬけがをする恐れがあります。



本体内部へのエアスプレーの使用は絶対にしないでください。  
発火する恐れがあります。

## 3・各部の名称と働き



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。  
火災、感電の恐れがあります。

## ⚠ 注意



本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。  
火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。  
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。  
本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



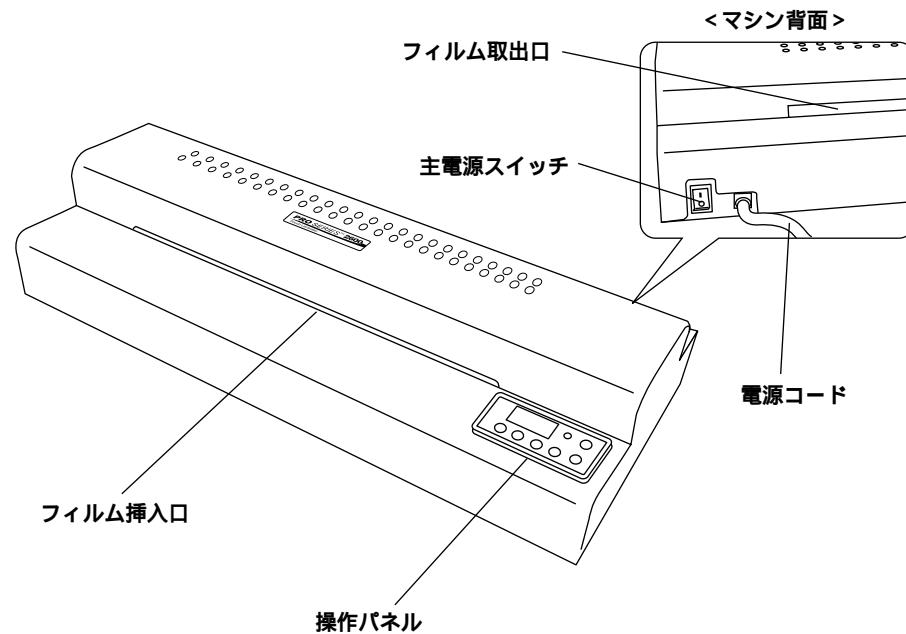
電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。  
火災、感電の恐れがあります。



必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。



電源は、延長コード含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独でご使用ください。タコ足配線はしないでください。  
感電や発熱による火災の原因になります。



## フィルム挿入口

パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

## フィルム取出口

ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

## 操作パネル

全ての操作は操作パネル上にあるボタンで行います。また、ディスプレイ上に設定状況等が表示されます。(詳細は別記)

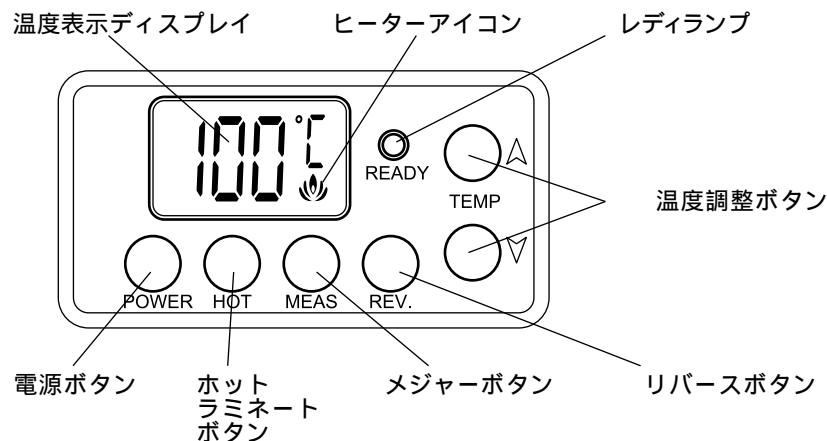
## 主電源スイッチ

このボタン押して、主電源をオン( )・オフ( )します。オン( )の時はディスプレイが表示されます。使用しない場合は、必ずオフ( )にしてください。なお、ラミネート終了後はヒートローラーのクールダウンを待ってから主電源スイッチをオフにしてください。

## 電源コード

電源コードを、AC100Vのコンセントへ差し込んでください。

## &lt;操作パネル&gt;



## 温度表示ディスプレイ

電源ボタンを1秒間押し続けて、電源をオンにした後、ホットラミネートボタンを押すと、設定されている温度がデジタル表示されます。また、メジャー ボタンを押すと、温度の現在値が表示されます。

## ヒーターアイコン

ヒーターが作動していることを表します。

## レディランプ

設定したラミネート温度に達しますと、レディランプ(緑)が点灯してラミネート可能なことを知らせます。

## 電源ボタン

主電源スイッチオンにした後、電源ボタンを1秒間押し続けて、電源をオンにします。終了後、電源ボタンを1秒間押し続けて電源をオフにしますと、クーリングモードになり、ヒートローラーが冷却され、数分後ブザーが5回鳴って自動的に電源がオフになります。その後、主電源スイッチをオフにしてください。ラミネート後は、すぐに主電源スイッチをオフにしないでください。

## ホットラミネートボタン

電源をオンにした後、ホットラミネートボタンを押すと、設定されている温度(スタート時100 °C)がデジタル表示されます。

## メジャー ボタン

メジャー ボタンを押している間だけ現在のローラー温度を表示します。

## リバース ボタン

このボタンを押し続けると、ローラーは逆転してラミネート途中のフィルムを挿入口より戻すことができます。ボタンから手を離すと、ローラーは正転します。

## 温度調整ボタン

このボタンを操作して、温度を設定します。上げる場合は[A]を、下げる場合は[V]を押してください。

## 4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

## ラミネートするもの

このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユボ等はラミネートしないでください。

和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。

再生するが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。

フィルムを含めて厚さ1mm以上になるものはラミネートしないでください。

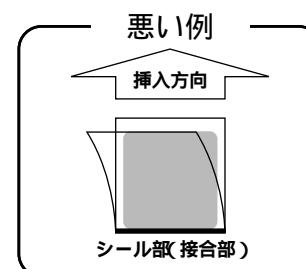
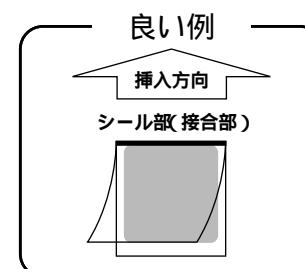
インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

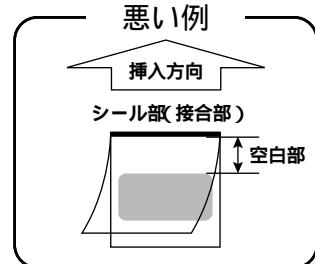
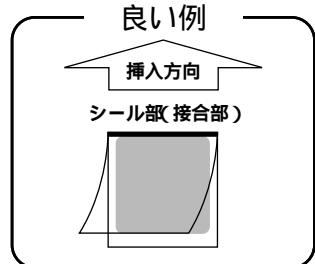
## ラミネートするとき

## 重要 ご使用になる前に必ずお読みください。

パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。



パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。  
挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。



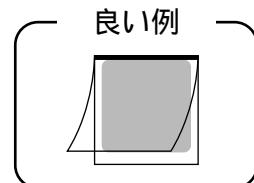
加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。

フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。

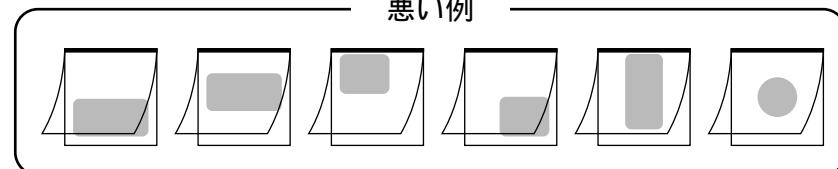
フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。

余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。

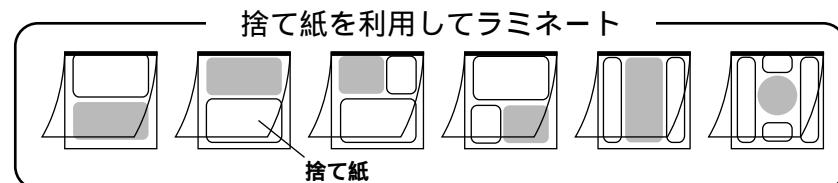
凹凸のあるものはラミネート加工には適しておりません。故障の原因となります。



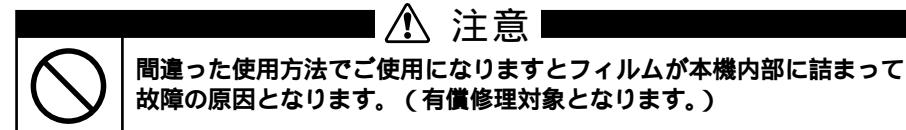
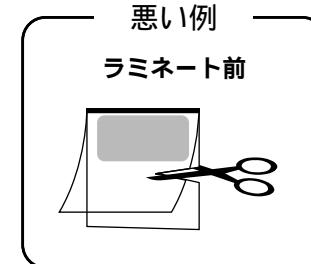
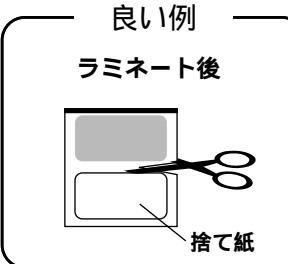
悪い例



対処法

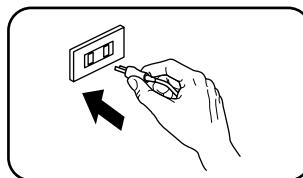


ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。

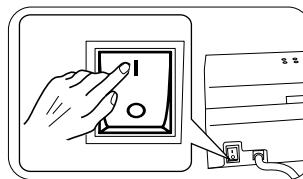


## 5・操作方法

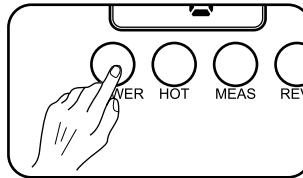
電源コードをコンセント(AC100V)に差し込んでください。



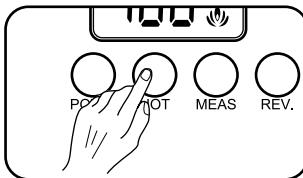
マシン背面にある主電源スイッチをオン( I )にしてください。



スイッチパネルにある電源ボタン【POWER】を、1秒間押し続けてください。

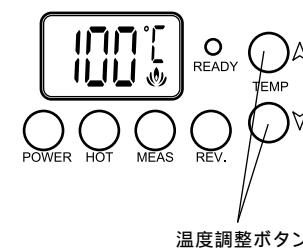


その後、操作パネルにあるホットラミネートボタン【HOT】を押してください。ディスプレイにヒーターアイコンと設定温度が表示され、ウォームアップを開始します。



使用するフィルム・ラミネートするものに合わせ(設定目安表を参照) 温度調整ボタンを操作して、温度を設定してください。

ホットラミネートボタン【HOT】を押すと、「100」が設定されていますので、温度調整ボタンで設定値を変更してください。ディスプレイに設定温度が表示されます。



加工物	使用 フィルム厚	設置温度	
		A3 サイズ	A4 サイズ
コピー用紙	75 ~ 100 $\mu\text{m}$	100	100
	125 ~ 150 $\mu\text{m}$	120	115
	175 ~ 200 $\mu\text{m}$	135	130
	250 $\mu\text{m}$	—	140
カタログ	75 ~ 100 $\mu\text{m}$	110	105
	125 ~ 150 $\mu\text{m}$	125	120
	175 ~ 200 $\mu\text{m}$	135	135
写 真	75 ~ 100 $\mu\text{m}$	115	110
	125 ~ 150 $\mu\text{m}$	130	125
	175 ~ 200 $\mu\text{m}$	140	135

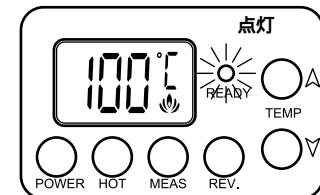
ローラー温度が65 以上にならないと、ローラー運転は始まりません。

左記にないフィルム厚と加工物の組み合わせをラミネートする際は、必ず事前にテスト加工して、仕上がりを確認してください。

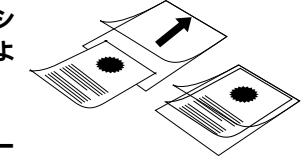
温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

約4~8分後にウォームアップ完了しますと、レディランプ(緑)が点灯し、ラミネート可能なことを知らせます。

設定温度により時間は異なります。

重  
要

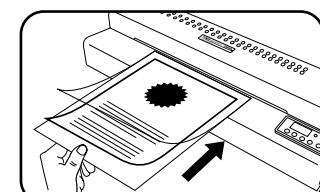
ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。



ウォームアップが完了するまで、ラミネート用フィルムを通さないでください。

貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

シールされた側からフィルムをフィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。



## ⚠ 警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。

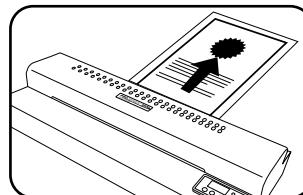


ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。  
けがをする原因になることがあります。

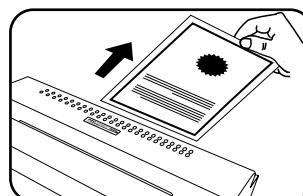


間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出でてきます。



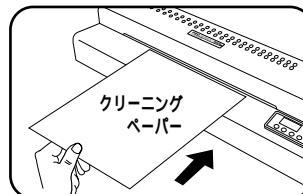
ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、  
平らなところへ置いてください。約1分間冷却し  
て完了です。



## 連続ラミネートをする場合

連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをお取  
り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃す  
るために、同梱のクリーニングペーパーをフィル  
ム挿入口より入れてください。この作業を数回繰  
り返してください。( 温度が高い状態の時に実施  
してください。)

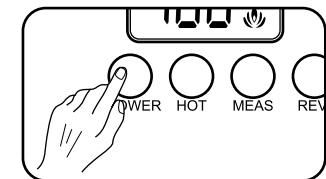


## ローラークリーニング

ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m<sup>2</sup>程度の厚さの用紙)を使用してください。

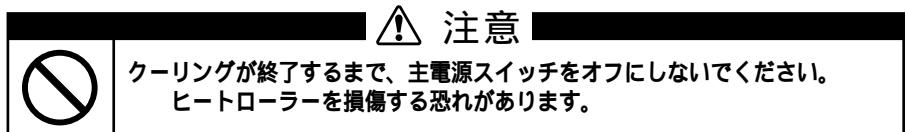
二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、  
コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用  
しないでください。



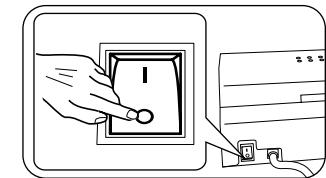
ローラークリーニングが終りましたら、電源ボタン  
【POWER】を、1秒間押し続けてください。

クリーニングを開始し、クリーニング終了をブザーが  
5回鳴って知らせます。自動的に電源をオフにし  
ます。

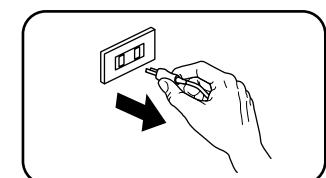
クリーニングが完了するまで、マシン背面にある主電  
源スイッチをオフ「O」にしないでください。



クリーニングが終了するまで、主電源スイッチをオフにしないでください。  
ヒートローラーを損傷する恐れがあります。



クリーニングが終了して、ディスプレイのヒーター  
アイコンが消えてから、マシン背面にある主電源  
スイッチをオフ「O」にしてください。  
また、安全のためにコンセントから電源プラグを  
抜いておいてください。



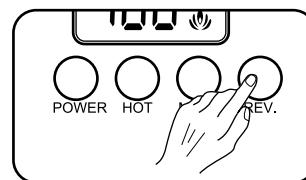
## オートシャットオフ機能

電源が入ったまま約120分以上ご使用されない場合は、自動的に休止します。  
再度ご使用になる場合は、スイッチパネルの電源ボタン【POWER】とホット  
ラミネートボタン【HOT】を操作し直してご使用ください。

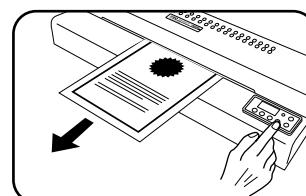
## フィルム詰まりトラブル解消方法（リバースボタン【REV】）

ラミネート加工時に、フィルム取出口から加工されたものが出てこない場合は、全てのフィルムが機械内部に引き込まれる前に下記のような処置をしてください。

直ちに操作パネルのリバースボタン【REV】を押してください。押し続けている間、ローラーは逆転します。

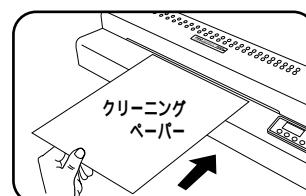


加工物の全てがフィルム挿入口から排出されるまでリバースボタン【REV】を押し続けてください。



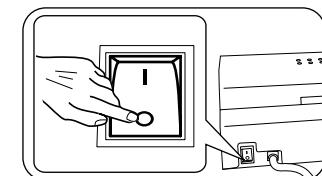
必ずローラーをクリーニングしてください。

11ページのローラークリーニングを参照。

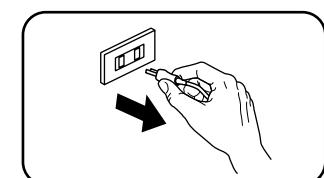


## 6・お手入れ方法

マシン背面にある主電源スイッチをオフ“O”にしてください。

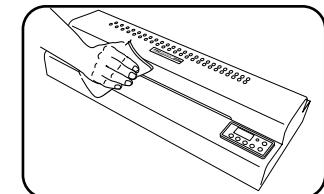


電源プラグをコンセント（AC 100V）から抜いてください。

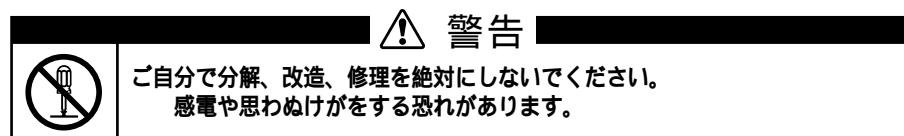


やわらかい布でから拭きをしてください。

お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。  
シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。



## 7・こんな時は

## 8・製品仕様

現象	原因	対処法(参照ページ)
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか?	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。 (9ページ)
	主電源スイッチが入っていますか?	マシン背面の主電源スイッチをオン「I」にしてください。 (9ページ)
	電源ボタン【POWER】を押しましたか?	スイッチパネルの電源ボタン【POWER】を1秒間押し続けて電源を入れてください。 (9ページ)
ホットラミネートができない	ホットラミネートボタン【HOT】を押しましたか?	ホットラミネートボタン【HOT】を押してください。ウォームアップを開始します。 (10ページ)
	レディランプ(緑)が点灯していますか?	ウォームアップが完了し、レディランプ(緑)が点灯するまでお待ちください。 (10ページ)
	クーラーの冷気が直接当たっていませんか?	クーラーなどの冷気から離してご使用ください。 (3ページ)
ラミネートフィルムがはがれる	紙以外の材質のものをラミネートしていませんか?	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。 (6ページ)
ラミネートされた加工物が波を打っている	ラミネート温度が高すぎます。	温度調整ボタンを押して、設定温度を下げてください。 (9ページ)
ラミネートされた加工物の表面が畳っている	ラミネート温度が低すぎます。	温度調整ボタンを押して、設定温度を上げてください。 (9ページ)
ラミネートフィルム表面が汚れる	ローラーのクリーニングをしていますか?	同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。 (12ページ)
ラミネートフィルムが取出口から出てこない	ハウチフィルムがラミネーターの中に詰まっています。	リバースボタン【REV】を押し続けて、フィルム挿入口側から詰まつた加工物を戻してください。 (13ページ)

商品名	ハウチラミネーター プロシリーズ
	P2600
品番	GLMP2600
サイズ(W) x (D) x (H)	480 x 211 x 115 mm
質量 kg	7.1 kg
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
定格消費電力	550 W
ローラー本数	4 本
最大ラミネート幅	A3 (325mm)
最大ラミネート厚	1 mm
使用フィルム厚	75 ~ 250 $\mu$ m
ラミネート速度	500 mm/分(50/60Hz)
ラミネート温度	~ 140
加熱方式	ヒートローラー方式
ウォームアップ	約4~8 分
オートシャットオフ機能	約120分後

# 保証とサービス

保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。

販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

- ( 1 ) 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。  
a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。  
b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。

- c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。  
d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。

- e 本書の掲示のない場合。

- f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

- g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。

- ( 2 ) ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社へご相談ください。

- ( 3 ) 本書は日本国内においてのみ有効です。

- ( 4 ) 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

お客様相談窓口：野田サービスセンター 04-7129-2135

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理等についてご不明な場合はお問い合わせください。

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間終了後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳密に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳密に管理いたしますので、あわせてご了承ください。



品名	パナソニック プロシーラ P2600
品番	GLMP2600
保証期間	1年
シリアルNo.	
お買上げ日	年 月 日

販売店	TEL ( )
お客様	ご芳名 ご住所 TEL ( )

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。  
お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

## パナソニック プロシーラ 保証書